

2022年2月14日

各 位

大和エネルギー・インフラ株式会社

## 米国における太陽光発電所開発に関する Solariant 社との協業について

大和エネルギー・インフラ株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：松田守正／以下、「当社」といいます。）は、再生可能エネルギーの投資、開発を推進する Solariant Capital, LLC (Pasadena, California、Managing Director：Daniel Kim／以下、「Solariant 社」といいます。）との間で、米国における太陽光発電案件及び蓄電池案件の共同開発に関する協定書（以下、「本協定書」といいます）を締結しましたことをお知らせいたします。

Solariant 社は米国カリフォルニア州パサデナを本拠地とし、アジア及び米国における再生可能エネルギー電源の開発及び運営に強みをもつ投資運用会社です。現在、パサデナ、東京、ソウル、マニラ及びビスリグに拠点をもち、様々な社外パートナーや投資家と協力して、太陽光発電所、バイオマス発電所及び蓄電池等の開発に取り組んでおります。2019年1月には日本における再生可能エネルギー発電所の開発案件に特化した資金調達プラットフォームとして Solariant Renewable Energy Fund I を組成しております。

当社は本協定書を締結し、Solariant 社が保有する米国における太陽光発電案件の開発及び開発フェーズのその他案件の取得を進めます。初期パイプライン案件は主に米国の南西、南東部に位置し、発電容量1,000,000kW以上の太陽光発電、2,500,000kWh以上の蓄電池システム案件の開発を目指します。当社は、先進的な再生可能エネルギー、脱炭素市場である米国における事業推進を通じて、国内外における再生可能エネルギー分野への投資を積極的に検討し、金融機能を通じて脱炭素化を主体的に促進していきます。

大和証券グループは、2018年にSDGs推進委員会を設置し、経営戦略の根底にSDGsの観点を取り入れると共に、持続可能な社会の実現に資する商品・サービスの提供に努めてまいりました。2021年5月には、経営ビジョン“2030Vision”を策定・公表し、「貯蓄からSDGsへ」をコアコンセプトに、資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現を目指しています。

本件はそうした取組みの一環であり、今後も当社グループは、サステナブルで豊かな社会の創造に向けて貢献してまいります。

### ■ 本件により達成を目指すSDGsの目標

【目標7】： エネルギーをみんなに そしてクリーンに  
太陽光発電への投資を通じた再生可能エネルギーの導入を推進します。

【目標 13】： 気候変動に具体的な対策を  
非化石電源への投資を通じて CO2 の発生を抑制し、地球温暖化防止に寄与します。

以 上

(ご参考)大和証券グループの SDGs に関する取組み:

[https://www.daiwa-grp.jp/sdgs/?cid=ad\\_eir\\_sdgspress](https://www.daiwa-grp.jp/sdgs/?cid=ad_eir_sdgspress)